



2018年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年2月9日

上場会社名	三機工業株式会社	上場取引所	東
コード番号	1961	URL	http://www.sanki.co.jp/
代表者	(役職名)代表取締役社長執行役員 (氏名)長谷川 勉	TEL	03-6367-7084
問合せ先責任者	(役職名)執行役員経理本部長 (氏名)川辺 善生		
四半期報告書提出予定日	2018年2月13日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	: 有		
四半期決算説明会開催の有無	: 無		

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	115,608	0.9	2,292	25.6	3,045	24.1	1,023	△35.1
2017年3月期第3四半期	114,563	△6.5	1,825	△25.1	2,454	△20.3	1,578	△22.8

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 4,840百万円(182.4%) 2017年3月期第3四半期 1,714百万円(△21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	16.41	16.36
2017年3月期第3四半期	24.84	24.78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	158,338	84,994	53.6
2017年3月期	166,612	85,961	51.5

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 84,815百万円 2017年3月期 85,814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期	—	10.00	—	20.00	30.00
2018年3月期	—	15.00	—		
2018年3月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2017年3月期	期末配当金の内訳	普通配当10円00銭	特別配当10円00銭
2018年3月期	第2四半期末配当金の内訳	普通配当10円00銭	特別配当 5円00銭
2018年3月期(予想)	期末配当金の内訳	普通配当10円00銭	特別配当 5円00銭

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	6.8	7,000	16.4	7,500	9.0	5,000	6.4	80.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2018年3月期3Q	63,661,156株	2017年3月期	66,661,156株
2018年3月期3Q	3,079,567株	2017年3月期	3,098,491株
2018年3月期3Q	62,400,987株	2017年3月期3Q	63,560,865株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2017年5月12日発表の数値から変更はありません。

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループは、中期経営計画“Century 2025” Phase1を着実に実行し、引き続き環境変化に柔軟に対応できる企業体制を構築しながら、新技術の開発、コーポレートガバナンスの一層の強化に取り組み、コンプライアンスの徹底を土台として、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向け鋭意努力を重ねてまいります。

当第3四半期連結累計期間の連結業績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

	受注高	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第3四半期連結累計期間	139,657	115,608	2,292	3,045	1,023
前第3四半期連結累計期間	138,163	114,563	1,825	2,454	1,578
増減	1,493	1,044	467	591	△554
増減率	1.1%	0.9%	25.6%	24.1%	△35.1%

	当期首	当四半期末	当期首からの増減	増減率
繰越受注高	123,756	147,805	24,048	19.4%

受注高につきましては、前年同期と比較して14億9千3百万円増加いたしました。また、売上高につきましては、前期からの繰越工事高の増加の影響等により、前年同期と比較して10億4千4百万円の増収となりました。利益面につきましては、増収に加え、原価管理の徹底や作業効率の向上など利益率改善に努めた結果、営業利益及び経常利益は前年同期と比較して増益となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、三機大和地区再開発計画(STeP計画)に係わる固定資産除却損を含む特別損失を計上した結果、前年同期を下回りました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、建築設備事業、機械システム事業及び環境システム事業につきましては、通常の営業形態として、工事の完成引渡しに年度末に集中する影響で、売上高及び利益額が第4四半期に偏る季節要因があります。

① 建築設備事業

ビル空調衛生、主に工場向けの空調設備を中心とする産業空調、電気設備及びファシリティシステムに関する事業等、建築設備工事の概ね全てを包含する事業で構成されております。

受注高は1,098億9千3百万円(前年同期比1.5%増)、売上高は957億円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益(経常利益)は19億2千6百万円(前年同期はセグメント利益14億2千5百万円)となりました。

セグメント利益(経常利益)は、原価管理の徹底や作業効率の向上などにより増益となりました。

② 機械システム事業

主に搬送システム及び搬送機器に関する製造販売事業で構成されております。

受注高は82億9千3百万円(前年同期比45.8%増)、売上高は66億9千6百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益(経常利益)は3千3百万円(前年同期はセグメント利益4千5百万円)となりました。

受注高は、大型搬送用設備の受注により増加いたしました。

③ 環境システム事業

主に官公庁発注の上下水道施設及び廃棄物処理施設に関する事業で構成されております。

受注高は203億5千5百万円(前年同期比14.8%減)、売上高は121億6千5百万円(前年同期比5.7%増)、セグメント損失(経常損失)は3億3千1百万円(前年同期はセグメント損失2億4百万円)となりました。

④ 不動産事業

売上高は13億1千1百万円(前年同期比10.2%増)、セグメント利益(経常利益)は3億8千万円(前年同期はセグメント利益1億4千7百万円)となりました。

⑤ その他

売上高は4億3千5百万円（前年同期比19.7%増）、セグメント利益（経常利益）は5千3百万円（前年同期はセグメント利益2千5百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は996億9千万円（前連結会計年度末比13.2%減）、固定資産は586億4千7百万円（前連結会計年度末比13.4%増）となりました。その結果、総資産は1,583億3千8百万円（前連結会計年度末比5.0%減）となりました。

総資産の減少の主な要因は、流動資産において、自己株式の取得や配当金の支払い等により現金預金が減少したことと、季節要因により受取手形・完成工事未収入金等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は597億1千万円（前連結会計年度末比13.2%減）、固定負債は136億3千3百万円（前連結会計年度末比14.8%増）となりました。その結果、負債合計は733億4千3百万円（前連結会計年度末比9.1%減）となりました。

負債の減少の主な要因は、季節要因により流動負債の支払手形・工事未払金等が減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は849億9千4百万円（前連結会計年度末比1.1%減）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想及び個別業績予想につきましては、2017年5月12日発表の数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	34,187	24,521
受取手形・完成工事未収入金等	58,168	54,676
電子記録債権	8,570	6,586
有価証券	6,999	4,699
未成工事支出金	1,692	3,493
原材料及び貯蔵品	453	541
繰延税金資産	1,615	1,265
その他	3,231	3,918
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	114,906	99,690
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	39,364	36,702
減価償却累計額	△35,363	△32,498
建物・構築物(純額)	4,001	4,204
機械、運搬具及び工具器具備品	3,187	2,101
減価償却累計額	△2,789	△1,705
機械、運搬具及び工具器具備品(純額)	397	396
土地	3,958	3,897
リース資産	676	688
減価償却累計額	△205	△257
リース資産(純額)	470	430
建設仮勘定	21	691
有形固定資産合計	8,849	9,619
無形固定資産		
その他	542	838
無形固定資産合計	542	838
投資その他の資産		
投資有価証券	32,497	36,911
長期貸付金	145	128
退職給付に係る資産	4,493	4,463
敷金及び保証金	1,256	1,341
保険積立金	486	563
繰延税金資産	237	267
その他	4,151	5,449
貸倒引当金	△955	△936
投資その他の資産合計	42,314	48,189
固定資産合計	51,705	58,647
資産合計	166,612	158,338

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	48,277	43,349
短期借入金	5,654	4,564
リース債務	158	144
未払法人税等	887	307
未成工事受入金	5,728	5,530
賞与引当金	2,285	1,242
役員賞与引当金	143	115
完成工事補償引当金	422	429
工事損失引当金	970	1,153
繰延税金負債	22	33
その他	4,223	2,839
流動負債合計	68,776	59,710
固定負債		
リース債務	452	376
退職給付に係る負債	2,274	2,647
役員退職慰労引当金	79	68
繰延税金負債	4,187	5,499
その他	4,881	5,041
固定負債合計	11,875	13,633
負債合計	80,651	73,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,105	8,105
資本剰余金	4,181	4,182
利益剰余金	68,314	64,962
自己株式	△2,251	△3,736
株主資本合計	78,348	73,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,928	13,805
為替換算調整勘定	△125	△32
退職給付に係る調整累計額	△3,337	△2,470
その他の包括利益累計額合計	7,465	11,302
新株予約権	126	179
非支配株主持分	19	—
純資産合計	85,961	84,994
負債純資産合計	166,612	158,338

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
売上高		
完成工事高	113,289	114,182
不動産事業等売上高	1,274	1,425
売上高合計	114,563	115,608
売上原価		
完成工事原価	99,857	99,394
不動産事業等売上原価	994	898
売上原価合計	100,852	100,293
売上総利益		
完成工事総利益	13,431	14,788
不動産事業等総利益	279	526
売上総利益合計	13,710	15,315
販売費及び一般管理費	11,885	13,022
営業利益	1,825	2,292
営業外収益		
受取利息	14	19
受取配当金	648	642
その他	241	339
営業外収益合計	904	1,002
営業外費用		
支払利息	62	57
その他	212	190
営業外費用合計	274	248
経常利益	2,454	3,045
特別利益		
投資有価証券売却益	—	23
特別利益合計	—	23
特別損失		
固定資産売却損	—	54
固定資産除却損	31	1,288
環境対策費用	—	68
事務所移転費用	44	128
特別損失合計	76	1,539
税金等調整前四半期純利益	2,378	1,530
法人税、住民税及び事業税	399	538
法人税等調整額	425	△11
法人税等合計	824	526
四半期純利益	1,553	1,003
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,578	1,023
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△25	△20
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△411	2,877
為替換算調整勘定	△152	93
退職給付に係る調整額	723	866
その他の包括利益合計	160	3,837
四半期包括利益	1,714	4,840
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,743	4,860
非支配株主に係る四半期包括利益	△29	△19

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2016年4月1日 至2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,378	1,530
減価償却費	523	599
固定資産除却損	31	1,288
事務所移転費用	44	128
環境対策費用	—	68
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△71	△18
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,250	1,654
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	—	△10
工事損失引当金の増減額(△は減少)	395	183
損害補償損失引当金の増減額(△は減少)	△13	—
受取利息及び受取配当金	△663	△662
支払利息	62	57
有形固定資産売却損益(△は益)	2	53
投資有価証券売却損益(△は益)	△11	△23
売上債権の増減額(△は増加)	14,688	5,519
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△1,842	△1,800
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,996	△5,218
未成工事受入金の増減額(△は減少)	3,849	△199
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△1,636	△1,698
その他	△3,607	△967
小計	6,383	485
利息及び配当金の受取額	664	659
利息の支払額	△63	△60
法人税等の支払額	△3,111	△1,457
法人税等の還付額	0	130
事務所移転費用の支払額	△35	△108
環境対策費用の支払額	—	△68
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,837	△420
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△1,500
定期預金の払戻による収入	—	300
有価証券の取得による支出	△3,000	△10,300
有価証券の償還による収入	3,000	9,600
有形固定資産の取得による支出	△356	△1,763
有形固定資産の売却による収入	8	7
有形固定資産の除却による支出	—	△773
投資有価証券の取得による支出	△1,204	△317
投資有価証券の売却による収入	16	63
投資有価証券の償還による収入	200	—
貸付けによる支出	△64	△0
貸付金の回収による収入	22	17
保険積立金の払戻による収入	57	46
その他	△133	△598
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,452	△5,217
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△848	△835
長期借入金の返済による支出	△255	△255
自己株式の取得による支出	—	△3,679
ストックオプションの行使による収入	0	0
リース債務の返済による支出	△110	△119
配当金の支払額	△1,970	△2,195
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,183	△7,084
現金及び現金同等物に係る換算差額	△106	56
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△905	△12,666
現金及び現金同等物の期首残高	32,501	39,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,595	26,521

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 2016年4月1日 至 2016年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	96,537	5,908	11,515	1,189	115,151	363	115,515	△952	114,563
セグメント利益 又は損失 (△)	1,425	45	△204	147	1,414	25	1,440	1,014	2,454

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額1,014百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益811百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額202百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息及び配当金、全社費用の配賦差額などであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 3
	建築設備 事業	機械 システム 事業	環境 システム 事業	不動産 事業	計				
売上高	95,700	6,696	12,165	1,311	115,873	435	116,308	△700	115,608
セグメント利益 又は損失 (△)	1,926	33	△331	380	2,008	53	2,062	983	3,045

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業及び保険代理事業等を含んでおります。
2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額983百万円には、各報告セグメントに配分していない全社損益600百万円、社内上各セグメントに配賦した金利負担の戻入額169百万円、各セグメントに帰属する固定資産除却損、事務所移転費用等を特別損益に計上したことによる調整額213百万円が含まれております。なお、全社損益の主なものは、各セグメントに帰属しない利息及び配当金、全社費用の配賦差額などであります。
3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益及び包括利益計算書の経常利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2017年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の取得及び消却を行いました。これによる当第3四半期連結累計期間の取得による自己株式の増加額は3,679百万円、消却による自己株式及び利益剰余金の減少額は2,180百万円となり、当第3四半期連結会計期間末の自己株式は3,736百万円となっております。